



# Discovery Camp

実施期間：令和6年11月2日(土)～3日(日)

## 目的・趣旨

定住外国人等の子供を対象に、自然体験等の活動を通じた「生活・自立」を支援する取組を行う。体験活動を通して、自己を見つめ、自分の長所や強みなどについての自己理解を促す。個人で行う体験とともに、仲間と協働する体験を提供し、一人では成し遂げられない課題に挑戦することで、自己肯定感の向上を図る。このキャンプでは、自己の成長を感じたり、新たな可能性を見つけたりして、自立する力を育成する。

## 事業概要

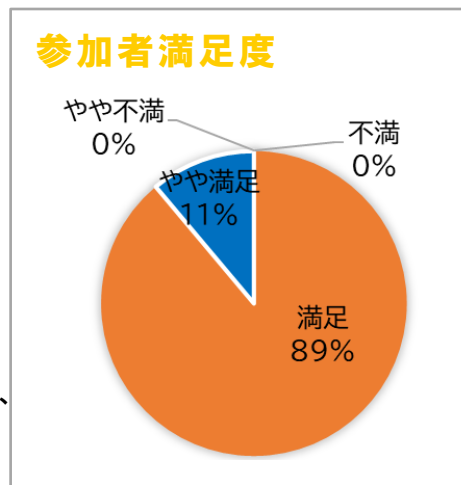
- 【参加者数】 19名 (小学生6名 中学生8名 高校生1名 保護者4名)
- 【実施内容】  開会式・アイスブレイク  ワークショップ①ネームタックづくり  
 ワークショップ②外国のゲーム体験  情報交換会(保護者のみ)  
 ワークショップ③レクリエーションづくり  焚火体験  
 妙高アドベンチャー  マイスプーンづくり(保護者のみ)  
 閉会式・振り返り
- 【連携】 上越国際交流協会 4名 法人ボランティア 1名

## 事業のポイント

- アイスブレイクやワークショップ、妙高アドベンチャーと、自己の良さを見つめ直したり、仲間と協働する楽しさを感じたりする体験活動を意図的に設定する。
- 情報交換会やマイスプーンづくりなど、保護者のみのプログラムを実施する。

## 成果

- 参加者の事業全体を通じた満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- ワークショップや妙高アドベンチャーなどを通して、仲間と協働する楽しさを感じたり、自分の役割を果たそうとしたりする姿が見られた。
- グループでレクリエーションを考える話し合い活動では、意見を出し、仲間と相談して決定する、合意形成を学ぶ機会となった。自らが考えたゲームが仲間から称賛され、その後の活動でも自信をもって取り組む参加者がいた。
- 情報交換会などの保護者のみのプログラムを設定したことにより、就学・進学相談を実施したり、保護者同士のコミュニティの広がりを図ったりすることができた。
- 当施設での体験活動に、「また来て、やってみたい。」という参加者がほとんどであった。



## 事業の様子



開会式



アイスブレイク



WS①ネームタックづくり



WS②外国のゲーム体験



WS③レクリエーションづくり



焚火体験



妙高アドベンチャー



集合写真

詳しい様子はこちらより！



<https://youtu.be/A3i4eEt5Q1g?feature=shared>

自然の家 公式動画(YouTube)  
妙高ミミチャンネル



## 参加者の声

- 他者に声をかける勇気、自分のアイディアを発信する勇気を得ることができた。
- 今まで体験できなかったプログラムを経験し、楽しむことがこんなにも自分の喜びにつながるものだと感じた。日本に来て一番楽しい時間だと感じた。
- 仲間と協力して妙高アドベンチャーのチャレンジを成功させることができた。みんなの前で恥ずかしがらずに行動することができ、様々な人と交流することもできた。
- 学校では班長などをしたことがなく、班をリードすることがドキドキした。私の話を静かに聞いてくれる仲間がいたり、みんなで作ったゲームが楽しかったと言ってくれる仲間がいたりして、嬉しかった。これからもいろんなことを頑張りたい。

## 課題

- 参加者の募集について、広報の方法や申込の方法など、申込みがしやすいような工夫が必要であった。
- 施設や活動などの説明をする際に、言葉だけでなく、視覚的に示したりするなど、参加者への伝え方を工夫する必要があった。また、振り返り活動で、参加者が普段使っている言語で行えるような配慮も必要だった。
- 定住外国人の子供や保護者を対象とした体験活動を、継続的に提供できるようにしていきたい。